



神職の祝詞奏上に続いて、開田美保さん(勇さん方)、林ひとみさん(菊造さん方)、齋藤奈緒さん(富美子さん方)、林亜佑美さん(扶三子さん方)の四人に、林蒼葉さん(要矩さん方)、八田萌絵さん(正美さん方)ら二人の新たなメンバーを加えた六人の巫女さんたちによって浦安の舞が奉奏されました。開田環美さん(睦秋さん方)、堀尾朱美さん(外志子さん方)ら先輩格の巫女さん方も奉仕されました。また、今年白寿、喜寿、古希、還暦、初老、

三十 珍ほど
 の積雪
 の中、
 寅年の
 歳旦祭
 が午前
 五時よ
 り、延
 喜社内
 林神社
 に於い
 て厳肅
 に齋行
 されました。

新人巫女さん二人迎えて
 延喜社内林神社の歳旦祭



元旦午前零時の林神社

厄年を迎えた方々三十人余りが参列され、それぞれお願いを込めて玉串を奉奠されました。ご芳名は以下の通りです。
 二十五歳厄祝い
 林拓美さん 林将貴さん
 林周作さん 林延行さん
 林卓見さん
 三十三歳厄祝い
 武部幸恵さん
 齋藤幸代さん



- 四十二歳厄祝い
 林俊克さん
 八田裕一さん
 八田有洋さん
 林義人さん
 還暦
 林章夫さん
 高島清さん
 林廣幸さん
 古希
 林利和さん
 林茂之さん
 林鐵史さん
 八田一さん
 八田嵩さん
 林和紘さん
 林勝正さん
 林孝行さん
 林孝孝さん
 林時子さん
 高島孝子さん
 武部啓子さん
 八田キミエさん
 喜寿
 開田資治さん
 林博さん
 武部則行さん
 白寿
 島照子さん
 開田玉子さん
 林礼子さん
 林みさるさん
 八田静香さん
 高島信子さん
 八田美智子さん



公文名で
 伝統行事左義長
 その昔、宮中で青竹を束ねて立て毬杖三本を結び、その上に扇子や短冊などを添え、正月の縁起物を焼いたのが始まりと言われる日本古来の伝統行事左義長が、今年も公文名で行われました。本来は小正月(正

書き初め
 天高く

該当者全員の加入を目指して
 今年度は昭和二十年四月二日から昭和二十一年四月一日の間に生まれた方々(小学校昭和二十二年卒業生)が光寿会の加入対象者となります。
 光寿会は伝統的に全国でもトップクラスの高い加入率を維持しています。高齢者同士の連帯感を高め、親睦・福祉・健康などを増進するため、該当する方々全員に加入を勧めましょう。

般老連高齢者学級開講式・記念講演
 講師 散居村ミュージアム館長 砂田龍次氏
 二月九日午後二時 般若農村改善センター

会員の慶弔
 弔事 林みさる様
 一月十七日死去
 享年数え年九十九歳
 謹んでご冥福をお祈りいたします。

当日も参加者が餅や芋を持ち寄り、暖を取りながらおいしそうに賞味していました。昔に比べ子供たちの少ないのが、いささか物足りなく思われます。

書道の上達を願って、火中に投げた書き初めが天高く舞い上がりました。左義長の火で焼いた餅を食べるとその年の病を除くと言われていて、



火勢 最高潮!



点火前の左義長

季節のうた
 長髪と丸刈りにして子の受験
 林 香月子
 月十五日)に行われるものですが、近年は成人式前後の連休を利用するようになり、今年は十日に行われました。
 常会役員を中心早くから藁、廃材、孟宗竹などの材料を集め櫓にくみ上げた左義長に、夕刻五時半過ぎ火が入られ、子供達が

